



目指せ全国 伊那勢3校

駒ヶ根工 全員一丸粘りの戦いを

前回大会でベスト8入りを果たした駒ヶ根工。就任4年目の天野監督は「昨年は昨年で今年は今全く違うチーム。上を見るのではなく、一戦一戦を主力でやるしかない」。まずは初戦となる3回戦突破を目標に掲げる。

昨年の大会を主力として経験しているのはGK有賀とMF小阪、FW山上の3人だけ。7月下旬に始まった県2部リーグは、全敗の最下位に終わった。けが人が多いチーム事情もあり、メンバーを変えながら戦ってきたという。指揮官は「劣勢でも頑張れるのが今年の選手たちの良さ。80分間のゲームの中で流れを読み、自分たちのやりたいことを徹底してほしい」と期待する。昨年同様、ボールを保持しながら空いたスペースを突いて攻め上がるポゼッションサッカーを志向。軸になる選手はいないため「全員で頑張る」チームだ。

前回大会では、47年ぶりのベスト4まであと一歩と躍進した。主将の小阪は「今年には今年の良さがある。練習してきたこと、努力してきたことを信じて、自分たちの力を発揮したい」と意気込んでいる。

(有賀政宗)

サッカーの第99回全国高校選手権大会は17日に再開して3回戦16試合を行う。上伊那勢は県2部リーグの赤穂と駒ヶ根工がシードで3回戦から登場するほか、2回戦を突破した伊那北がベスト16入りを目指す。赤穂は飯田、駒ヶ根工は小諸商、伊那北は市立長野と対戦する。

新型コロナウイルスの影響で今夏の全国高校総体(インターハイ)、予選となる県総体は中止に。全国選手権は年末年始に首都圏で開催予定で、勝負の秋に挑む3校の戦力、意気込みなどを紹介する。

(メンバー表は左からポジション、選手名、学年、身長、体重、出身中学の順。学年の白抜き数字は主将)